

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2003-64286(P2003-64286A)
 【公開日】平成15年3月5日(2003.3.5)
 【出願番号】特願2001-256482(P2001-256482)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 11/00

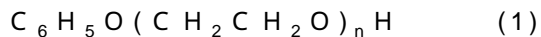
B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成20年8月21日(2008.8.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 3 】

ポリオキシエチレンフェニルエーテル

式(1) :

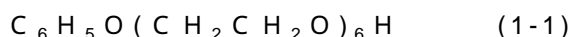


〔式中 n は 3 ~ 28 の数を示す。〕

で表されるポリオキシエチレンフェニルエーテルにおいて、式中の n が 3 ~ 28 であるのが好ましいのは下記の理由による。すなわち式中の n が 3 未満あるいは 28 を超える化合物はいずれも、前述した補助効果が不十分になるおそれがある。また、特に n が 28 を超える化合物はインク組成物の粘度を上昇させたり、水溶性が低下してインク組成物中に析出したりして、インク組成物の吐出を不安定化させるおそれもある。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 4 】

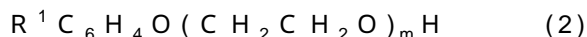
式(1)のポリオキシエチレンフェニルエーテルの具体例としては、n が 6 である、式(1-1) :



で表される化合物を挙げることができる。

ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル

式(2) :



〔式中 R¹ は炭素数 8 ~ 10 のアルキル基、m は 3 ~ 28 の数を示す。〕

で表されるポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルにおいて、式中の m が 3 ~ 28 で、かつ R¹ のアルキル基の炭素数が 8 ~ 10 であるのが好ましいのは下記の理由による。すなわち式中の m が 3 未満あるいは 28 を超える化合物や、R¹ のアルキル基の炭素数

が 8 未満あるいは 10 を超える化合物はいずれも、前述した補助効果が不十分になるおそれがある。また、特に m が 28 を超える化合物や、 R^1 のアルキル基の炭素数が 10 を超える化合物はインク組成物の粘度を上昇させたり、水溶性が低下してインク組成物中に析出したりして、インク組成物の吐出を不安定化させるおそれもある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

無機顔料としては、例えば酸化チタン、酸化鉄などの金属化合物や、あるいはコンタクト法、ファーネス法、サーマル法などの公知の方法によって製造されたカーボンブラック等の 1 種または 2 種以上を挙げることができる。

また有機顔料としては、例えばアゾ顔料（アゾレーキ、不溶性アゾ顔料、縮合アゾ顔料、またはキレートアゾ顔料などを含む）、多環式顔料（例えば、フタロシアニン顔料、ペリレン顔料、ペリノン顔料、アントラキノン顔料、キナクリドン顔料、ジオキサジン顔料、チオインジゴ顔料、イソインドリノン顔料、またはキノフタロン顔料など）、染料キレート（例えば、塩基性染料型キレート、酸性染料型キレートなど）、ニトロ顔料、ニトロソ顔料、アニリンブラックなどの 1 種または 2 種以上を挙げることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

実施例 13

CAEO1 の量を 0.8 重量部、式(1-1)の化合物の量を 3.4 重量部、式(2-1)の化合物の量を 0.8 重量部、そしてイオン交換水の量を 62.4 重量部に変更したこと以外は実施例 12 と同様にしてインクジェット用インク組成物を製造した。

実施例 14

CAEO1 に代えて、前記式(3)中の M^1 、 M^3 がアンモニウム基、 M^2 が水素で、かつ p が 6 である、式(3-4)：

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

【表 3】

		実施例 No.					比較例 No.	
		15	16	17	18	19	1	2
重量部	顔料分散液	ブラック	15.0	15.0	—	—	15.0	15.0
		イエロー	—	—	25.0	—	—	—
		マゼンタ	—	—	—	20.0	—	—
		シアン	—	—	—	—	—	—
	結着樹脂	Mw : 8,500	1.0	—	—	—	—	—
		Mw : 12,000	—	1.0	—	—	—	—
		Mw : 38,000	—	—	—	—	—	—
	塩基性物質		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		CAEO1 (p=6)	0.8	0.8	0.8	0.8	—	—
		POE(1-1)	3.4	3.4	3.4	3.4	—	—
	DEGB	POR(2-1)	0.8	0.8	0.8	0.8	—	—
			5.0	5.0	5.0	5.0	—	—
		Sur465	0.5	0.5	0.5	0.5	—	—
	イオン交換水	その他	10.1	10.1	10.1	10.1	10.1	10.1
			62.4	62.4	52.4	57.4	72.9	73.9
		吐出安定性	◎	◎	◎	◎	×	◎
評価	印刷の定着性	△	△~○	◎	◎	◎	◎	×